

滝の原便り

社会福祉法人 西仁会広報誌

発行：西仁会広報委員会(管理部)

〒320-0851 宇都宮市鶴田町3375

TEL 028-632-7577

FAX 028-632-7571



秋の深まりとともに蕎麦屋さんの軒先には「新そば(蕎麦)」の案内が目立つ季節となりました。新そばには、「夏そば(夏新)」と「秋そば(秋新)」があります。秋そばの方が香りや風味が良いとされ、新そばといえ一般に「秋そば」をいいます。秋そばの収穫時期は、一番早い北海道で9月中旬、遅い九州で11月中旬のころとなります。本県においても、そばの栽培は盛んに行われており、その生産量はダントツの北海道(42%)、茨城、長野などに次ぎ第6位(平成28年)と毎年上位に付けており、品種は従来からその土地に栽培され続けてきた「在来種」が多いようです。これらの収穫時期が10月下旬から11月上旬となりますので、これからが県内各地でその土地特有の地粉(在来種)を使った蕎麦が振舞われる「新そば祭」の最盛期を迎えます。

ところで、よく蕎麦と対比される「うどん」が今日のように麺で食べられるようになったのは室町時代(1300年中頃)とされています。そば切り(麺にした蕎麦)が誕生するのは、それから二百二拾年ほど下った、江戸時代の少し前(1570年代)といわれています。そば自体の起源(縄文時代)は、米や麦よりもむしろ古いのですが、そば米などの粒食やそば掻きなどの粉食の時代が長かったせいでしょうか、そば切りが始まってからまだ400余年の歴史なのです。その始まりは、甲州とか、信州など諸説あるところですが、洗練された食べ物として、またこれに纏わるそば文化を育んできたのは、正に江戸であり、そこに暮らす「江戸っ子」でありました。

江戸時代の初期は「うどん」が主流でした。元禄(1688年)のころになりますと、小麦粉がつなぎに使われ、これまでの「蒸しそば切り」から茹でて出すようになります。これと同時に「二八蕎麦」が江戸庶民の気軽な食べ物として普及・定着していきます。しかし、まだそば切りの商いは、うどん中心に麺類等を扱う「けんどん屋」であったり、街道筋の茶屋などで提供されておりました。そば切りを主体に扱う「蕎麦屋」の呼び名が一般化していくのはもう少し後の享保年間(1717年)になります。

この時代、赤徳浪士の「討ち入り蕎麦」の話が有名です。それは、吉良邸討ち入り(元禄15年・1702年12月15日)の前夜、両国にある蕎麦屋の2階に浪士四十七士が集結し、そば切りをすすったという話であります。討ち入り後に姿を消した寺坂吉右衛門(信行)の筆記では、これを明確に否定しており、討ち入りの集合場所も本所現・墨田区にある堀部安兵衛宅、杉野十平次宅、前原伊助宅の3箇所に分かれて集合したとあります。また、浪士一党は集合前に堀部弥兵衛(安兵衛の義父)宅で饗応を受け、その後一部浪士(6〜7名)が茶屋に立ち寄りそば切りを注文、休息してから安兵衛宅に向ったとあります。これが後に「討ち入り蕎麦」のもとになったようであります。

そば切りに付き物のそばつゆですが、今日のように鰹節の出しに濃口醤油・味醂・砂糖といった江戸の「そばつゆ」が完成するのは文化・文政時代(1804年)で、幕末期(1860年代)には江戸市中に蕎麦屋がひしめき、その数は、現在の東京の蕎麦店数(約3,200軒)より多い3,760余軒あったといわれています。当時の江戸の人口は現在の10%程度であり、蕎麦屋の数の多さが窺えます。

明治時代に入り、製麵機が出回りますと、手打ち蕎麦屋は激減し、昭和10年のころには、ほぼ消滅したといわれています。戦後は、昭和30年ころからすべての工程(捏ねる・延ばす・切る)を手打ちで行う蕎麦屋が徐々に老舗を中心に復活してまいりました。そして今や、東京に限らず全国に手打ち蕎麦屋が広がり、その土地ならではの蕎麦をその場で提供する地域おこしの「蕎麦屋」も活況を呈するようになりました。

もう直ぐ師走、年を越すにはやっばり江戸時代から続く、細く長い「年越し蕎麦」でしょうか。一向に上達の見られない私の蕎麦打ちですが、精魂こめて打ちたいと思います。

理事長 高野 俊彦



老人保健施設ファミール滝の原

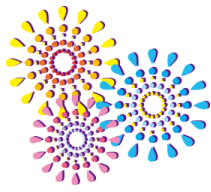
「土用の丑の日」7月25日

うなぎを食べて暑い夏を乗り切ろうということ、ひつまぶしを頂きました。最初はそのまま、次は薬味をのせて、最後はお茶漬けにして。どの食べ方もご満足いただけました。



「花火大会」8月30日

夏祭りの時に打ち上げる予定だった花火。あいにくのお天気で夏祭りは中止となり、後日の花火大会となりました。打ちあがる花火にご利用者から「綺麗だね」「うわー！」等の声が上がりました。



「十五夜」10月4日

今年はいいにくの天候でしたが、ちよつとだけお月様を見ることができました。すすきやお団子を飾り、おやつにはうさぎをモチーフにしたスイートポテトを食べ十五夜を満喫しました。



「敬老運動会」9月26日

今年もファミール大運動会を開催。調理リレーや玉入れに皆さん真剣。勝負になるとこんなにも表情が変わるんですね。真剣な顔、顔・顔・職員による障害物競走にご利用者から「頑張れ！」の声援が飛びます。熱い応援、ありがとうございました。



通所リハビリテーション

「夏祭り」

8月9日(水)夏祭りを開催しました。くじ引きや恒例のすいか割り等々、今年も大いに盛り上がりました。職員全員の浴衣姿にご利用者も大喜び。皆さんの元気で暑さを吹き飛ばしてくれました。



「壁画制作」
8〜9月の壁画は花火でした。毎回季節に合わせて趣向を凝らした壁画を利用者さんと一緒にお届けしてまいります。出来映えはいかがでしょうか。10月のテーマはもみじとハロウィンを製作中です。



「茄子作り」

9月27日、いよいよ最後の収穫です。試行錯誤で始めましたが、何とかこころまで来ました。感慨深いものがありますね。みなさんありがとうございます。さて、来年は何を作りましょう。



「塗り絵」

月間DAY 主催の「ぬり絵コンクール」に出品し、入賞こそは逃しましたが、なんと4名の方が最終選考に残りました。全国規模のコンクールですので快挙と言つて良いと思います。日頃からみなさんの作品は廊下に展示しております。次回はの中から入選作品が出るかもしれません。



「出張うどん」

今日はお待ちかねの出張うどんです。肌寒い日にあつたかいうどん。湯気が立つて美味しそう。他にもラーメン・カレー・そばなど。大人気の出張シリーズがあります。



特別養護老人ホーム滝の原苑

「夏祭り」

8月20日(土) 16:00より恒例の「滝の原夏祭り」を開催いたしました。

「射的」「お化け屋敷」とゲームを楽しまれ、夕食は「たこやき・じゃがバター」から揚げ・ギョーザドック」などの夏祭りメニューをお腹いっぱいになるまで召し上がっていただきました。今年のお化け屋敷は、なかなかのクオリティで大興奮の盛り上がりでした。

法人夏祭りはあいにくのお天気で中止となりましたが、皆さん来年の開催を楽しみにされています。



「敬老祝賀会」

9月18日(月) 厳かな雰囲気の中、昼食時に敬老祝賀会を開催いたしました。

祝賀会前にお化粧やマニキュアなどで身支度を整え、嬉しそうにされている利用者がたくさんいらっしゃいました。今年も職員が「歌」のプレゼントを行いました。



「十五夜お茶会・夕食会」

10月4日(水) 十五夜お茶会・夕食会を開催しました。

今年は曇りがちの天候でなかなかお月様を見る事ができませんでしたが、一瞬だけ顔を出したお月様を見ることができました。

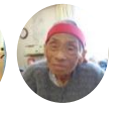


「秋の運動会」

10月18日(水) 秋の運動会を開催しました。

ここ一週間、気温が下がり冷たい雨の日が続く毎日でしたが、晴天に恵まれ大盛り上がり運動会となりました。

今年の運動会は、競技内容を一新し職員が3チームに分かれ「ドミノ倒し」「風船渡し」「風船割り」と、それぞれのチームが工夫を凝らした競技を作り上げました。どの競技も大盛況で笑いの絶えない運動会になりました。



「青葉学園」

今年も青葉学園の生徒さんが7月13日から10月12日まで就業体験学習のために来苑しました。

ご利用者と一緒に遊歩道での散策やエミール・ストリートの絵画鑑賞などのお手伝いをしていただきました。



ケアハウス滝の原苑

「カキ水会」

今年の夏も2回カキ水会を開催しました。1回目は肌寒く滑らかな氷もなかなかのどを通らなかったのですが、2回目は絶対の夏日となりました。皆さまおかわりされていきました。



「敬老会」9月18日

敬老の日をお祝いするには気が引けてしまうほどお若く、お元気な皆さまです。これからも健康で充実した日を過ごされますよう、お祝いをさせていただきます。ピールにジュースに豪華な食事、そしてデザートには大好評の紅白まんじゅうを召し上がっていただきました。



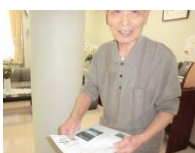
「十五夜」10月4日

十五夜のお供えを行いました。大きな団子を一つひとつとラップで包みお飾りしたのですが、「昔はこんなことしなかったから後で食べるのが大変だったよね」と、懐かしいお話も飛び交いました。夕食には、旬の秋刀魚を頂き、皆さま喜ばれていました。



「画観る・通り」

今回は山下清さんの絵が飾ってあります。とても温かみのある絵に、皆さま自然と笑みがこぼれていました。解説書にもとても興味をもたれていました。



ご存知ですか

10月1日からNHKスペシャルシリーズ「人体」神祕の巨大ネットワークが始まりました。来年3月まで全8回にわたって放送されます。(司会は山中伸弥教授とタモリです)

人体には、肺、心臓、胃、腎臓など様々な臓器がありますが、最新の研究で、それらの間では、脳が関わることなく常に情報のやり取り(会話)がされ支えあっていることが分かっています。

こうした臓器同士の会話は10万kmあるとされる血管網を情報回線として行われ、私たちの体の働きや病気の発生などに大切な役割を果たしていることが明らかになってきています。この会話を知らずして、がんや認知症・メタボなどを克服する画期的な方法に成果をあげ始めているのです。その第一集は「腎臓」が「寿命を決める」でした。

11月5日に第2集「脂肪と筋肉の会話がメタボを治す」が放送となります。皆様、NHK受信料を徴収されていますが、それに見合うだけの内容のある番組かと思えます。

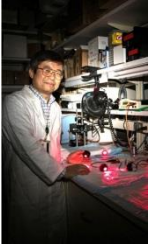
最新の医療情報、次のようなことも可能になりつつあります。ご存じでしょうか。

■夢のがん早期診断が実用間近です

国立がんセンターでは、一滴の血液で13種類のがんを初期の段階で診断できる検査方法の研究が進められています。最新の報告ではその精度は95%以上、3年後の実用化を目指しています。ちなみに費用は2万5千円程度。実現すればより効果的な治療が可能になり大幅な医療費の削減となります。

■近赤外線ががん細胞が1日で消滅

人体に無害な近赤外線を照射してがん細胞を消滅させる新しい治療法が米国立がん研究所の小林久隆研究員のもとで開発され、実用化の研究が進められています。この研究については2015年オバマ大統領が一般教書演説で「米国の偉大な研究成果」として世界に誇ったのです。この治療法はがん細胞の死滅率が極めて高く、ほとんどのがんに適用可能で、副作用がなく必要な設備や薬品が安価なので医療費の削減にも大きく貢献することが期待されています。現在、300人を対象に試験中で、2〜3年後に実用化される計画だそうです。



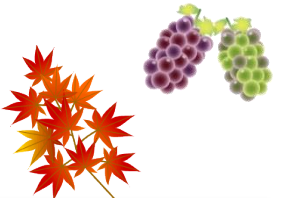
新入職員紹介



介護



看護



編集雑記

いきなりの臨時国会冒頭の衆議院解散、小池新党「希望の党」結成、そこに民進党が合流、そして公示7日前に枝野新党「立憲民主党」が結成されました。選挙の結果は自由民主党の大勝、希望の党の惨敗、立憲民主党の躍進に終わりました。この間1か月足らずの出来事でありました。何のためのドタバタだったのでしょうか。せめて謙虚で丁寧な政権運営、緊張感ある政治が行われるきっかけくらいにはなっていて欲しいと思うのですが。

この投票結果は前回(26年)の戦後最低の投票率を辛うじて上回ったようです。この低さは「史上最強の台風21号」の接近による悪天候の影響もあったのでしょうか。この台風接近・通過で宇都宮市内の全小中学校も臨時休校となりました。超大型台風がやってくるということで、皆さん心配されたのではないかと思います。やや東にそれたお陰でしょうか、本県での被害は比較的少なかったようです。

先月、今年のノーベル各賞の発表がありました。残念ながら自然科学系の3つの賞で4年連続受賞とはなりませんでしたが、日本(長崎)生まれのイギリス人「カズオ・イシグロ(石黒一雄)氏」がノーベル文学賞を受賞いたしました。作品の一つ「わたしを離さないで」は、イギリスなどで映画化されておりですが、日本においても世界のニナガワ(蜷川幸雄)演出で舞台化され、昨年は舞台を日本に置き換えテレビドラマ化されました。このロケ地として宇都宮大学内にある峰ヶ丘講堂(国登録文化財)が使われています。100年近く経っている講堂です。ご興味ある方には見学をお勧めします。なお、イシグロさんは、「村上春樹氏」とは親交があり互いに尊敬しあう関係のようです。それにしても村上さんには来年こそ取って欲しいですね。

今年もあと2か月となりました。2017年の新語流行語大賞の候補については「5月号」で取り上げましたが、下半期に入り、「史上最年少の棋士(藤井聡太4段)」、「ひふみん(加藤一二三9段)」、「海の王子(秋篠宮家長女眞子様と婚約した小室圭さん)」等々、たくさん出てきていますが、「付度」の存在は極めて大きく感じますが、どうでしょうか。それにしてもまだテレビ等で流れてくる「このハ〇〇。違うだろ。違うだろ。違うだろ。」には困ります。特に子どもには聞かせたくないですね。世の中には傷つく方、気分を害する方たくさんいます。当人は残念ながら今回は落選となりましたが、この放送もこれでお仕舞いにして欲しいものです。「なに、流行語大賞だつて!」それだけは勘弁してください。

これからは寒さも厳しくなっています。ご自愛ください。表紙は、栃木県中央公園の晩秋の風景です。次回は新年2月1日発行予定です。

駐車場のお知らせ

法人内工事に伴い、工事車両、プレハブ設置等の関係でお客様駐車場が狭くなります。(11月中旬より2ヶ月間)ご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひ致します。